



# 6月 園だより

令和8年5月29日  
江東区立枝川幼稚園



## “わくわく” 自然と触れ合おう

幼稚園  
ホームページ



園長 邑本 葉子

先日の木場公園親子遠足は、天候に恵まれ“わたしのワンピース”の活動やアスレチック遊びなど、たっぷり自然や運動遊びを楽しむことができました。そして、こどもたちだけでなく、保護者の方もみんなで親睦を図る機会となりました。ご参加いただき、ありがとうございました。

“わたしのワンピース”の活動は、アンケート回答でも大変好評で、(活動の様子) →  
親子で楽しみながらたくさんの自然に触れ、充実した取組になりました。そしてもっともっと豊かに自然と関わってほしいと思い、毎月1回の園内研究会で学んでいくことにしました。



先日の園内研の中で、年長組担任が「今ちょっと悩んでいて…せっかく豊洲まで行って“自分たちで育てる！できる！”と言ってたくさん野菜の苗を買ってきたのに、全然水やりをしなくて…。自分から気付いてほしいんですけど…」と話しました。その課題を解決すべく教員たちで意見を出します。「でも毎日気にかけて、様子を覗いているよね。」「“自分でやる”という気持ちになるには、日常のこととして動けるようにならないとだね。」「去年は、ジョウロを栽培物の近くに置いていたよ。」など、今のこどもたちの様子を捉えながら、“こうなってほしい”という願いやねらいに向け、環境の工夫や教師の援助の方法などを協議しました。

翌日、早速担任はジョウロの設置場所を変えていきます。登園した時にすぐ目に留まる場所に置き、さらに、担任自ら園庭に出て「おはよう」の挨拶とともに苗の方に視線を向けます。するとこどもたちも足を止め、「あ、お水あげよう」とジョウロを取り、水やりを始めます。友達の姿を見て、登園した幼児は次々と水やりを始めました。一人の子が気付きます。「あ、触ったらまだ土の中がサラサラだ。」担任はその声をしっかりキャッチし「よく気付いたね。サラサラだとまだ水が足りないんだよね。」と周囲のこどもたちにも聞こえるように伝えます。こどもたちは時々手で土を触りながら「ここOK!」と確認し、全部の苗にたっぷり水をあげていました。



今年度の園内研は「自然」に視点をおき、“わくわく”遊びを楽しむための環境や援助についてたくさん語り合おうと考えています。様々な活動を通して自然と触れ合い、全身を使って自然の面白さや不思議さなどを感じながら、『もっとやりたい！もっと知りたい』という探求心を育てていきます。

### 4歳児年中ちゅうりっぷ組

- 友達と同じ場で遊んだり、同じ物を作って身に付けたりする中で、友達と一緒に過ごす楽しさを感じられるようにします。
- 室内、戸外ともに体を動かしたり、水や泥の感触を味わったりして、伸び伸びと遊べるようにします。
- 雨の日が多くなる季節です。室内での安全な遊び方や、過ごし方を指導していきます。また、雨具の使い方を指導し、自分で扱うことができるようにしていきます。

### 5歳児年長ひまわり組

- 遊びの中で、自分なりのイメージやめあてをもち、試したり、工夫したりする楽しさを感じるようにしていきます。
- 友達のイメージや、思いに気付きながら、一緒に遊んでいる友達と遊びを進める楽しさを感じられるようにしていきます。
- プール指導が始まります。水の気持ちよさや感触、開放感を十分に味わったり、水の中で様々な動きを楽しんだりできるようにしていきます。